

セミナー報告

令和5年度 男女共同参画セミナー②

『虐待・いじめ・非行から子どもを守る ～救えたはずの命から託された願い～』



令和5年11月18日(土) 10時～12時

講師 安永 智美さん (福岡県警察本部生活安全部少年課 少年健全育成室課長補佐)

【プロフィール】

福岡県警察本部生活安全部少年課 少年健全育成室課長補佐として、県内5箇所の少年サポートセンターを統括する少年育成指導官。

96年に少年非行やいじめ、不登校など様々な少年問題に対応する少年育成指導官に転身。現在、子どもを犯罪の被害者にも加害者にもしないための少年相談や立ち直り支援、補導活動、講演などを行っている。

担当する少年少女からは、サポレンジャー(サポートセンター)の「レッド隊長」の名前で親しまれ、子ども達のよき相談者として心の声を聴き受け止めている。

《セミナー概要》

子ども達の命を守るためにはどうすればいいのか。少年の立ち直り支援、補導活動などを行っている少年育成指導官より、少年サポートセンターが果たす役割と子ども達への思い、そして、今私達にできることをお話いただいた。

子ども達の手に手錠がかからないよう予防を中心とした支援機関である少年サポートセンターは、国の都道府県に設置されており、福岡県内には5箇所ある。

福岡県は、東京・大阪・愛知など大都市にもない優れた他機関連携と唯一無二の仕組みがある。

平成14年に警察の中から地域の福祉センター内に少年サポートセンターを置いた。飯塚市以外は同じフロアに児童相談所があり、北九州市・福岡市には教育委員会の機関があるというのは、当時福岡県だけだった。福岡県は、全国の中でも最も先駆けた先進的な仕組みがあるが、それでも毎年、虐待・いじめ・非行で救えなかった子ども達が後を絶たない。

子ども達の問題行動には、必ず傷つき体験、被害体験がある。暴力、盗み、性加害、薬物は虐待を受けている子に多くみられる。子ども達は「助けて!!」と言わないのではない、言えないのだ。なぜなら、加害者の全体の7割は知っている人だから。SOSは言葉とは限らない。子どもの問題行動にとらわれがちだが、その子の背景を知ってほしい。心の声に耳を傾けて、味方になってあげることで自然と手が差し伸べられる。私達の大切な子ども達を、誰一人として犯罪の被害者にも加害者にもしない、非行少年を生まないためにも、地域の皆さんのお力を貸してください。そして、子ども達が困った時には、安心して少年サポートセンターを利用してください。

優先されるべきは「子どもの命と安全」です。子どもの幸せを中心に考えましょう。あなたとの出会いで子どもの未来が変わる。変えられる。と熱く語ってくださった。

<受講生の感想>

※一部抜粋

- ・非行に走る子ども達が大変な環境であるということが分って大変勉強になりました。今日の話は、学校の先生、子育て中の親、その他大勢の方に聞いて欲しいです。自分も何かお役に立ちたいと思います。
- ・とても心に響くセミナーでした。涙が止まらない2時間でした。参加して良かったです。
- ・今まで気づかない点に気づかされた。少年サポートセンターという組織があることを初めて知った。
- ・いじめを生まないために必要なことは、大人が知識を得ること、大人の社会の歪みが子どもの社会に反映する。「背景を知る」の重要性。
- ・説得力があり、話し上手な安永さんの講演会はあっという間でした。虐待・いじめ・非行など、もうこんな年寄りにはあまり興味のないことと思いつながら参加したのですが、素晴らしい話で今日は大満足です。私も何かお役に立ちたいと思いました。笑顔で地域に小さな種まきをしたいと思いました。こんな、涙の感動的な話は初めてでした。
- ・被害者、加害者を作らないために、意識して気づく力を身につけたいと思います。覚悟、熱意、勇気を出してこれからの人生を考えたい、変えたいと思います。講師の一つ一つの言葉が心に響き、ささり、とても感動しました。このような機会をいただきありがとうございました。
- ・他機関連携と地域、親の愛、子どもが守られ笑顔で過ごして欲しい。リアルに聞いた内容に驚きました。
- ・「許して、信じて、待つ」この気持ちで子ども達を育てました。今は、孫の成長のために、見守っていききたいと思います。
- ・今までで、一番重い話でした。涙が出ました。少年サポートセンターのことは知りませんでした。
- ・私の知らないことがあるのに驚きました。今後、そのような時は少しでも関わられるようになりたいと思います。
- ・少年サポートセンターの存在を知らなかった。太宰府の近くにあればいいと思う。知らない所で子ども達の命を救ってくれていることに感謝。子ども達の苦境に気づく大人がどれだけいるか。本当に児相は活動しているのか？と思う。
- ・親の覚悟が子へ伝わることが分かった。近しい人への感謝の気持ちを持って伝えたいと思いました。
- ・今、ニュース、週刊誌などで旧ジャニーズの性被害、宝塚自殺などがありますが、子ども達だけではなく、大人も被害者、加害者になっています。今日の講演は知らないことだらけで、被害者の声が聞けました。
- ・子どもの悲しみ苦しみに気づかされました。今後、自分の周りで心を寄せられる人になりたいと思いました。孫世代の子ども達に関心を持って過ごしたいと思います。
- ・子ども達を見守る家庭、地域、学校の連携が必要で、気づいても手をさしのべることが出来なければ、意味がないと分かりました。熱意と勇気と覚悟を持って接してみたいと思います。少年サポートセンターの存在を知ることが出来て良かったです。
- ・子どもの見守り、声掛けを続けていきたい。幼児期が一番大切なのを伝えていきたい。
- ・子ども達を見守りたいと思った。見かけだけで子どもを判断しないように気を付けたい。
- ・すばらしいと一言では言えません。「ありがとう」という言葉は「愛してるよ」という意味だという言葉が素敵です。